

## 2020年度 学校法人智辯学園 常勤教諭募集要項

学園概要	事業所名	学校法人 智辯学園						
	事業内容	教育研究業（私立小学・中学・高等学校）						
	事業規模等	別紙参照						
募集要項	募集職種	常勤教諭						
	募集教科	教科	英語	国語	世界史	物理	化学	小学校
		勤務校	奈良校 和歌山校 カレッジ校	カレッジ校	奈良校	カレッジ校	奈良校	和歌山校
	募集人数	若干名						
	募集資格	募集を希望する教科の小学・中学・高等学校教諭普通免許状を有するか、 または、2019年度中に取得見込みの者						
	選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門教科筆記試験</li> <li>・ 作文</li> <li>・ 面接</li> </ul>						
	選考場所	智辯学園和歌山校 和歌山県和歌山市冬野2066-1 TEL073-479-2811（代）						
	選考日時	2019年9月30日（月） 午前10:00開始						
雇用待遇	勤務時間	月曜日～金曜日 8:30～17:30 （休憩70分） 土曜日 8:30～15:00 （勤務時間は奈良校の勤務時間） ※ただし行事等により変更することがあります。						
	休日休暇	日曜日・祝日・第2土曜 等 年間休日数 （約100日）						
	賃金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学卒の初任給：約 233,000 円</li> <li>・ 諸手当（通勤手当・扶養手当・住居手当等）</li> <li>・ 賞与（年2回／計4.53ヶ月）</li> </ul>						
	各種保険	日本私立学校振興・共済事業団による健康保険および年金、雇用保険、労災保険						

応募方法	応募書類 (各一通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書（添付写真右側に受験教科を朱書すること。）</li> <li>・学業成績証明書（最終学歴学業成績証明書：大学院進学者は同証明書に加えて大学の学業成績証明書も必要です。）</li> <li>・卒業（見込）証明書（大学院進学者は修了（見込）証明書も必要です。）</li> <li>・教員免許状の写し（取得見込証明書）、更新講習修了確認証明書の写し（所有するすべての免許状の写しが必要です。）</li> <li>・健康診断書（胸部X線含む・3ヶ月以内診断のもの）</li> </ul>
	応募先 担当部署 問合先	〒637-0037 奈良県五條市野原中4丁目1番51号 学校法人 智辯学園 法人室 宛 TEL0747-22-3191（代）
	受付期限	2019年9月21日（土） 必着 応募書類を上記応募先に書留郵便もしくは持参してください。
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選考の詳細は直接応募者本人宛連絡いたします。</li> <li>・応募書類は職員採用に係わる事に使用し、それ以外の目的には一切使用しません。</li> <li>・なお、応募書類は一切返却いたしませんのでご了承ください。</li> </ul>

(別紙)

名称 学校法人 智辯学園  
智辯学園中学・高等学校（奈良校）

代表者 理事長 藤田清司  
高等学校長 手塚彰  
中学校長 辻哲也

設立 昭和40年4月 高等学校開校  
昭和42年4月 中学校開校（6年制）

生徒数 高校 506名（16クラス）  
中学校 294名（9クラス）

教職員 82名（常勤のみ）

名称 学校法人 智辯学園  
智辯学園和歌山小学・中学・高等学校（和歌山校）

代表者 理事長 藤田清司  
高等学校長 藤田清司  
中学校長 鳥居裕史  
小学校長 渡瀬金次郎

設立 昭和53年4月 中学・高等学校開校  
平成14年4月 小学校開校

生徒数 高校 780名（21クラス）  
中学校 650名（15クラス）  
小学校 442名（12クラス）

教職員 120名（常勤のみ）

名称 学校法人 智辯学園  
智辯学園奈良カレッジ小学・中学・高等部（カレッジ校）

代表者 理事長 藤田清司  
学監 藤田良一  
中学・高等部校長 藤田清一郎  
小学部校長 山本博正

設立 平成16年4月 小学部・中学部開校

生徒数 高校 352名（13クラス）  
中学部 310名（9クラス）  
小学部 235名（12クラス）

教職員 90名（常勤のみ）

その他

- ・進学校であり、施設、内容は充実している。
- ・中学校については、6年一貫教育であり、進学を中心としている。従って、国公立大学現役進学率は、80%以上で、教師集団には、有為の人材が必要である。